

ロッカー型クラウドサービス以外のサービスに関する検討について（案）

平成26年11月19日

1. 本小委員会における検討の対象とするべきサービス

- （一社）電子情報技術産業協会から検討対象として提示のあったロッカー型クラウドサービス以外の9サービスのうち、アクセシビリティサービス及びeラーニングについては、法制・基本問題小委員会の検討課題とされている¹。アクセシビリティサービスの主要な対象である障害者関係の権利制限規定の整備については、現在、法制・基本問題小委員会において検討中。また、eラーニングについては、同小委員会において実態把握の必要性について意見があったことから、文化庁において今年度、調査研究を行った上で審議会での審議を行う予定。
- 著作物等の適切な保護と利用・流通に関する小委員会では、上記2つのサービスを除いた2.記載の7サービス（以下「各サービス」という。）を検討の対象とさせて頂きたい。

2. 各サービスに関する検討

- 以下の7つのサービスについての検討を行うに当たり、どのような視点から検討を行うことが適切か。
- 各サービスについて、制度整備や円滑なライセンス体制の構築などの要否及び対応方策の具体的内容について、どのように考えるべきか。

（1）私的使用目的の複製を支援するサービス

①メディア変換サービス

－利用者が自宅で保管しているビデオテープやレコード等を、事業者が提出を受け、DVDやブルーレイ等別のメディアに変換して返却するサービス

②個人向け録画視聴サービス

－事業者により録画されたテレビ番組を、携帯電話やタブレット等様々な端末で視聴可能にするサービス。

③プリントサービス

－画像を指定して注文すると、指定画像をプリントした商品が自宅に届くサービス。

（2）クラウド上の情報活用サービス

④スナップショット・アーカイブ

－利用者が指定したURLの情報が事業者のストレージ上に保存され、URLの参照先のページが削除・変更された後でも元のページを参照できるサービス。

⑤論文作成・盗作検証支援サービス

－公表された情報をクラウド上のサーバーに収集・分類し、それをもとに論文執筆者に文献情報の提供（和訳等含む）を行ったり、チェック対象の論文を入力すると、収集された文献と比較し、盗作箇所が表示されたりするサービス。

⑥評判分析サービス

－インターネット上の情報をクラウド上に収集・分類し、評判を知りたい自社商品等の名称を入力すれば、評判に関するデータが提供されるサービス。

⑦法人向けTV番組検索サービス

－クラウド上に放送を録画し、法人事業者が危機管理や報道対応のために後で検索して自由に視聴できるようにするサービス。

¹「第14期文化審議会著作権分科会 各小委員会における検討課題について」（平成26年7月18日著作権分科会（第40回）資料3）を参照。